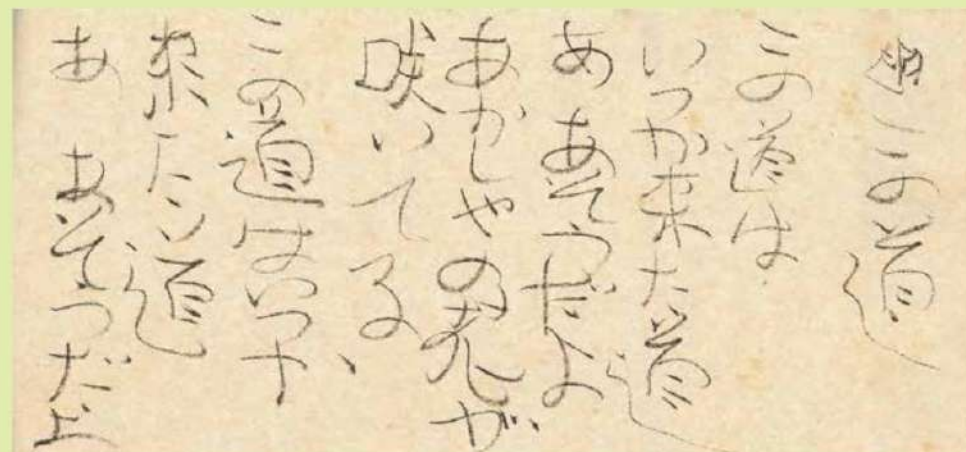




この道

北原白秋

この道は

いつか来た道

ああ そうだよ

あかしの花が

咲いてる

あの丘は

いつか見た丘

ああ そうだよ

ほら白い時計台だよ

この道は

いつか来た道

ああ そうだよ

お母さまと

馬車で行ったよ

あの雲も

いつか見た雲

ああ そうだよ

山査子の枝も

垂れてる



今月は、渡辺俊明さんの綴じ帖「白秋の童謡」からご紹介。他に「赤い鳥小鳥」「からたちの花」なども収められ、いずれも俊明さんの書と画で白秋の詩が楽しく彩られています。

もくじ

巻頭 古拙微笑

02 ことばの旅

04 登坂和雄の一語一絵〈頂〉

06 特集 俊明さんに教わる 日々の愉しみかた

22 柳宗悦の眼に学ぶ 白土慎太郎

24 手紙のヒント 中川越

26 読者投稿ひろば

テーマ「我が家流! 知恵袋」

自由絵手紙/なんでも100字/活動報告

41 山田喜代春の詩画世界

42 essay アーサー・ピナード

44 誌上レッスン 絵手紙教室

◎小池邦夫の絵手紙教室
「絵付俊明」

◎熱岩幸恵の小さくても一歩
多様化の中で

◎最終回 阿部祥子のどどん動いて
どどん動いて/どどん動いて
「絵手紙は私の先生」

40周年記念の
グッズのご案内は
56頁をご覧ください



来春発行予定!



NEW 予告 阿部祥子さんの人気連載が1冊の本になります

32回にわたった連載が今月で最終回を迎えた「阿部祥子のどどん動いて どどん動いて どどん動いて」。読者の皆さまからも「実践の参考になる!」「1冊にまとめてほしい」とのお声を多くいただき、このたび書籍化することとなりました。詳しくは今後の月刊誌上にてお知らせいたします。どうぞお楽しみに!



絵草子本「もどらず山」、絵付けのお皿、出島の南蛮人を描いたガラス絵など、どれも暮らしのなかで自由に遊んだ俊明さんの仕事。小池邦夫宛の絵馬の裏には「小池さんらしく歩く年であってほしい それはぼくのハゲミでもあります。」と筆書き。



特集

俊明さんに教わる

日々の愉しみかた

絵を描くのも、手紙を書くのも大好き、ものをつくり出すことも大好き。いつの時間もどんな自分も、そしてご縁ある人たちも、身の回りのすべてを大切にしていた渡辺 俊明さんに、日々の暮らしの愉しみかたを教えてください。

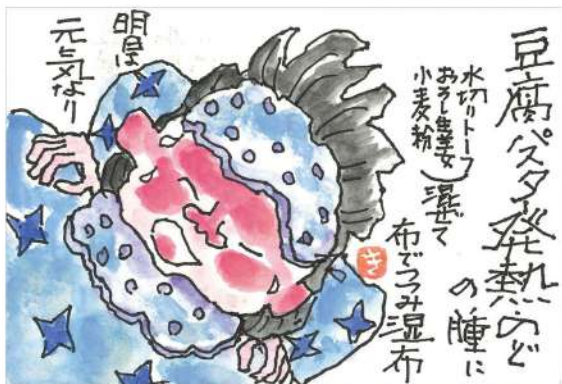
わくわくを
大切に



櫻根克美(大阪)
祖母から教えてもらった、みかんの風邪予防。



廣瀬正子(富山)



小泉喜代子(79歳・東京)
*バスターには「軟膏」という意味があります。

*優しさを
プラスして



吉田富美代(73歳・北海道)



山口朋子(岐阜)
熱が出て、スキーなんて絶対行かせないという両親。見かねた祖母が梅干しを焼いて番茶を注いで何度も飲ませてくれた。効果絶大です。

読者投稿

かいて、送って、みんなでおしゃべり



ひろば

吉田芳子(徳島)
「風邪かな」と思ったら直ぐにやかんに
冷凍干柿を3、4個入れて煮たします。
今年も母と一緒に作った干し柿を軒下
にたくさん吊るしたいと思っています。



古澤昌代(大阪)
首の付根の下、肩甲骨の間にカイロを貼ると、体が芯から温もり治まります。

石本啓子(愛媛)
幼い頃、風邪をひきやすい私に祖母が教えてくれました。今も春夏秋冬のルーティンです。



テーマ「我が家流！知恵袋」

直伝の知恵を持ち寄って、心も体も豊かに暮らしましょう

・自由絵手紙 ・なんでも100字 ・活動報告

渡辺俊明の絵馬



年末になると、俊明さんから小池のもとに、新年の無事を祈る絵馬が届いた。
「丈夫な体と精神を持たなければ小池さんの言われる様に 人のところを引ばる 人のところをたたくものはできませんね 何時もところもからだももえていなければね。」（裏面の手紙文より）

小池邦夫の絵手紙



小池邦夫から渡辺俊明宛の絵手紙

誌上レッスン

初心から学ぶ『ヘタでいい ヘタがいい』

絵手紙教室

月刊誌を使って好きな時に好きな場所で学んでいきましょう

こいけ・くにお

絵手紙の創始者。1941年(昭和16)愛媛県松山市生まれ。19歳より絵手紙をかき始め、「ヘタでいい ヘタがいい」をモットーに絵手紙文化を広める。その活動が評価され、東京都狛江市初の名誉市民に選ばれるほか、文化庁長官表彰など受賞も多数。2023年8月31日82歳で永眠。